



1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

本校は、四日市版コミュニティスクールの指定を受け、7年目になります。運営協議会の通称名を『桜～絆～委員会』（平成27年度より）とし、学校・家庭・地域の三者の絆をより深めていくことを確認し合っています。

『桜～絆～委員会』での活動や学校関係者評価を通して学校教育の更なる充実を図り、学校教育目標「豊かな心でみがき合い、自ら考え行動する子どもの育成」と開かれた学校づくりの推進に努めます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

（1）教育活動の実践事例

運営協議会委員さんや桜地区安全・安心まちづくりのみなさんには、不審者情報による下校パトロールをはじめ、持久走記録会時での誘導等でご協力をいただきました。

また、環境美化目的で整備をすすめている「地域連携花壇」は、正門玄関付近にあり、児童だけでなく学校を訪れる地域の人々の心を和ませています。

園芸委員会の児童が中心となって、環境ボランティアの方々と連携して、春と秋に「定植」を行っています。子ども達は一緒に花の苗を植えながら、挨拶や言葉をかわすなど、積極的に関わろうとする姿が見られます。

また、今後の花壇の様子を楽しみに会話する姿もみられ、水やりや草取りなど一生懸命に世話をしていこうとする気持ちが行動に表れてきています。



【持久走記録会】



【秋の定植】

毎年、1年生は、地域の「桜たのし会」のみなさんに、お手玉をはじめ、あやとり、こま回し、めんこなどの昔遊びを教えていただいています。また、3年生もこの日に、「桜たのし会」の方から、昔の暮らしや生活について聴き取りをさせていただき、社会科の授業にいかしています。



【3年生 昔の暮らし聴き取り】



【1年生 昔の遊び体験】

6年生は、地域の「桜ボランティア協会」さんにお世話になり、車椅子やアイマスク、手話など福祉体験をさせていただいています。



【6年生 福祉体験】

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- ① コミュニティスクールの指定を受けたことをきっかけにして、地域の様々な団体の皆様と活動を共にしていく機会が増え、地域と学校との繋がりがより密になり、お互いの「顔の見える関係」づくりの深まりを感じることができました。
- ② 12月に行った保護者アンケートの項目「学校は、保護者や地域の人々に授業を公開したり、子どもが地域の人々に教えてもらったりする機会を作っていますか。」については、肯定的評価の割合が今年も97%と高くなっています。今後もさらに学校・家庭・地域の三者の連携・協力がさらに深まるように取組を進めていきます。

3 今後に向けて

コミュニティスクール推進のために、保護者だけではなく地域の方々に対しても、様々な情報を適切に発信し、双方向のコミュニケーションの充実を図ることが必要不可欠です。

各自治会に回覧していただいている『さくらっ子』（学校だより）も地域に定着してきています。また、学校ホームページでは、「学校・学年の様子」や「地域連携の様子」のページで、児童の様子をはじめ、環境・図書ボランティアさんの活動の様子や桜～絆～委員会の様子などを発信しています。

桜中校区では、四日市市版コミュニティスクールの指定を受けている桜中学校運営協議会・桜台小学校運営協議会と桜小学校運営協議会の三校合同の会議も行っています。



【合同会議と夏休み作品展参観】

コミュニティ指定から7年を経過して、地域とのつながりの一層の深まりを感じています。地域と単一小学校だけの繋がりだけでなく、地域と中学校・小学校・幼稚園・高等学校を含めた連携も視野に入れて活動していくことを今後提案できたらと考えています。

別紙B

令和 元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立桜小学校

委員長 伊藤 隆夫

学校長 森本 裕也

月	日	協議会の開催	活動内容（学校行事関連含む）
4			
5	9	第1回 運営協議会	委員委嘱、委員長・副委員長選出 活動方針及び事業計画について
6			
7			
8			
9	4	第2回運営協議会 桜中運営協議会と合同	夏休み作品展 見学
10			
11	9	第3回運営協議会	授業参観・PTA 教育講演会参加
12			
1	30	第4回運営協議会 桜中・桜台小運営協議会と合同	3校合同運営協議会
2	27	第5回運営協議会	六年生を送る会見学、学校関係者評価、ふれあい給食、次年度に向けて
3			